

## 第2回

理化学研究所 情報基盤センター

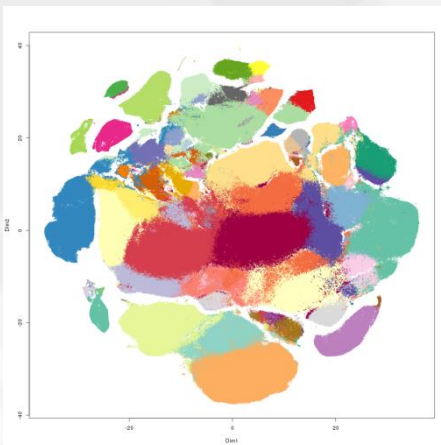
バイオインフォマティクス研究開発ユニット

露崎 弘毅 博士

## 1細胞RNA-Seq解析の最前線

我々の身体を構成する体細胞は、全て同一のゲノム情報を持つのにも関わらず、細胞ごとに形態や機能が異なる。これは細胞ごとに発現しているRNAの種類と量が異なるためである。そのため、どのRNAが幾つ発現したのかを全て計測できれば、細胞の機能の理解につながる。このようなトランスクリプトームの研究は、細胞集団の平均的な発現パターンを計測するバルクレベルでの実験が主流であった。近年では、1細胞レベルでの発現パターンを計測する1細胞RNA-Seq法が登場したため、利用事例が世界的に増えてきている。

本セミナーでは、前半に、1細胞RNA-Seqの基本的な解析を説明し、1細胞RNA-Seqで、どのような生物学的問いに答えられるのかを解説する。後半は、著者の研究の紹介を交えつつ、今後の1細胞研究がどのように発展していくのかを述べる。



マウス的大脑皮質、海馬、脳室下帯の1306127細胞を10X Chromiumで1細胞RNA-Seqし、t-SNEで可視化したもの

7月4日(火) 16:30-18:00

琉球大・医学部

基礎研究棟1Fセミナー室 173

※ 学内の皆様のご参加・聴講は自由です（事前申し込み不要）

皆様のご来聴を歓迎いたします。

お問い合わせ先：

熱帯生物圏研究センター 矢口甫 [hjiroo@gmail.com](mailto:hjiroo@gmail.com)